

24. 木曾川上下流交流の推進拡大及び 森林整備協定の推進に関すること

経緯

平成15年2月、木曾川の上下流域住民が一体となり水源地域の森林を整備し、健全な水循環型社会の構築に向けた取組みを行うため、木曾川「水源の森」森林整備協定が締結された。

これは、平成11年8月に開催された「水と緑のフェスティバル」を契機に、木曾川下流域自治体と様々な交流事業を展開し、平成12年度には愛知中部水道企業団と「交流のきずな」を調印して水源環境の整備促進と木曾川をきずなとして協働共生していく体制の強化が図られるなど、上下流交流事業を展開してきた成果である。

現状と課題

下流域の愛知中部水道企業団では「水道水源環境保全基金」を設置し、平成13年から基金積立てを開始した。一方、上流域の木曾郡では森林整備協定の締結を受け平成16年に「森林保全基金」を設置し、積立てを開始した。

森林整備は、木曾川「水源の森」森林整備協定に基づき、平成17年度から上下流の基金を充当して開始されている。平成23年度までの7年間で上下流基金181,880千円が投入され5,818haの民有林が整備され、順調に事業実績を上げている。

事業推進に当たっては、長期的な事業展開の必要性から県、町村、森林組合と連携を図り、上下流一体となった事業計画の調整により効率的な基金投入を図ってきたが、国の「森林・林業再生プラン」に基づく補助制度の変更に伴い、事業の見直しが喫緊の課題となっている。

上下流交流事業として愛知中部水道企業団管内5市町や一宮市、また名古屋市との交流を継続してきている。

名古屋市との交流は、平成18年度からのイベント参加に加え、「名古屋城本丸御殿」の復元事業を契機に、平成21年度から「平成の名古屋市民の森植樹祭」が木曾町戸立町有林で行われ、毎年150名を超える市民が参加している。この事業は、10年間にわたって実施することとされている。また平成22年10月には生物多様性条約締約国会議（COP10）が愛知県で開催され、木曾三川流域自治体の首長が連携し「流域自治体宣言」を発信し、これを契機に、名古屋市上下水道局が中心となった「木曾三川流域自治体連携会議」が発足している。

一方、水源域としての木曾地域への関心の高まりからNPO法人等民間団体と様々な交流の展開が図られ、特産品の販売による水源基金の創設や基金還元の取組み、上流体験ツアーの実施や両地域でのフォーラム、集会の開催など、人・物の交流が広がりつつあり、今後ますます期待されている。

今後の方針

水源涵養機能の高度発揮に向け、間伐を中心とした森林整備を進め、搬出された間伐材の下流域での消費拡大のための施策を検討するなど、関係機関と連携を図りながら森林及び森林資源の有効利用を図る。

上下流交流は、下流域住民の体験・交流の場としてのフィールドを提供し交流の継続・浸透を

図りながら、次の段階として、一宮市を通じた木曾川沿川濃尾連携の会や愛知用水を通じた知多半島との交流の拡大を目指していく。

名古屋市との交流は、「名古屋城本丸御殿」や「木曾三川流域連携会議」を中心に、引き続き各種イベントへの協力を図りながら、次の段階として、上下流域の住民同士の交流へつながる事業展開を図る。

このほかに NPO 法人等との交流活動を通し水源地域の重要性を啓発し、交流人口の拡大を図るとともに特産品販売の販路の拡大を目指す。

また、上下流交流の枠にとらわれず、関東圏や関西圏など大都市圏との交流人口の拡大についても積極的に展開を図る。

施 策

- ① 上下流交流事業の推進拡大
- ② 木曾三川流域連携自治体会議への参画
- ③ 木曾川「水源の森」森林整備協定の推進
- ④ 大都市圏との都市農村交流の推進
- ⑤ 間伐材有効利用に係る調査研究

「水源の森」森林整備協定造林事業 年度別 実績表(町村別)

(単位:ha)

町村名	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	合計
木曾町	451.79	286.27	345.72	390.14	470.28	497.77	485.60	2,927.57
上松町	24.55	36.05	35.68	78.34	57.72	49.53	44.25	326.12
南木曾町	122.40	199.57	151.89	152.86	43.17	93.23	97.13	860.25
木祖村	120.04	121.48	100.81	56.32	77.70	97.64	51.35	625.34
王滝村	64.75	72.63	125.17	93.80	98.50	32.59	120.59	608.03
大桑村	50.19	72.86	91.73	58.76	65.42	80.24	52.22	471.42
合計	833.72	788.86	851.00	830.22	812.79	851.00	851.14	5,818.73

※愛知中部水道企業団との森林整備協定では目標値は800ha/年、7年で5,600ha

■木曾広域連合の主な上下流交流事業

事業内容	実施時期	経過説明
木曾広域交流事業 上下流交流実行委員会設置	H12.3.8～	上下流交流実行委員会を開催し、「木曾広域交流事業 基幹委員会設置要綱」を制定した。

【愛知中部水道企業団との交流】

事業内容	実施時期	場 所	経過説明
「交流のきずな」調印	H12.8.7	木曾文化公園	上下流域が一体となって水源を守り育てる理念のもと、木曾川を「きずな」として共生していくことを目的に、地域間の交流と連携により水資源の啓発を行い、水源環境の整備

			促進を図るため「交流のきずな」覚書が調印された。
愛知中部水道企業団 議員研修	H12～	木曽広域連合	愛知中部水道企業団議会議員及び理事者、事務局職員が木曽地域を隔年で行政視察している。
郷土の森林整備事業 (水源の森応援隊)	H13～ 春:木曽郡植樹祭の折 秋:毎年9月第4週土曜日	木曽郡内	平成13年9月、木曽地方事務所が主催する一般住民の参加による森林づくり体験事業に、上下流が一体となった水源林(森)づくりを進めている木曽広域連合と、愛知中部水道企業団職員及び協力工事店事業者が参加した。 平成16年から、企業団管内5市町の住民も参加する形とし、平成17年からは春と秋の年2回事業を実施している。春は木曽郡植樹祭において植栽作業体験、秋は木曽郡内の森林において間伐、枝払いなどの作業体験を実施することにより、森林整備に対する住民の理解と啓発を深めている。
下流域文化産業まつり	H13年～ 11月上旬の日曜日	豊明市 日進市 長久手市 ※ 東郷町 みよし市 ※	愛知中部水道企業団と連携して企業団管内5市町の産業まつりに参加し、観光宣伝や物産販売、体験活動を通じて下流域住民との交流を行い、森林整備に対する理解や重要性のPRを図っている。
木曽川「水源の森」 森林整備協定調印	H15.2.5	木曽文化公園	上流と下流の自治体が共同して木曽川の水源地域における森林整備を促進し、森林の持つ水源涵養及び国土保全機能を高め、水資源の確保に務めることにより、健全な水循環型社会の構築を図ることを目的に協定が締結された。
木曽川「水源の森」森林整備協定造林事業	H17～	木曽郡内	平成15年2月に締結された森林整備協定に基づき、上流・下流で水道使用量tあたり1円の基金を創設し、木曽郡内の森林整備を推進(年800ha以上)した。平成23年度末で5,818haの森林整備が実施された。
森林ボランティア養成講座	H18・H19	木曽郡内	H18・19年に下流域住民のボランティアリーダー養成講座を開講し、H20から毎年秋に研修会を実施している。下流域住民による春と秋の森林整備活動の折支援をいただいている。併せて、ボランティアの活動を補佐するサブリーダーの育成を図る。
サブリーダー育成研修	H23～		

※みよし市(平成22年1月4日から市制施行)、長久手市(平成24年1月4日から市制施行)

【愛知県一宮市との交流】

事業内容	実施時期	場 所	経 過 説 明
一宮リバー サイドフェ スティバル への参加	H12～ 毎年 5.3～5	一宮市 138 タワーパ ーク	平成 10 年より木曾地方事務所、木曾農業改良 普及センター、木曾地域地場産業振興センター、 木曾観光連盟、商工会連合会木曾支部で「いち のみやリバーサイドフェスティバル協賛木曾地 区協議会」を組織し、物産販売、ステージイベ ント等に参加してきた。 平成 12 年度は従前の協議会と新たに発足し た上下流交流実行委員会が協力してフェスティ バルへ参加をした。その後、実施主体が協議会 から上下流交流実行委員会に移り、以降毎年観 光宣伝や特産品の販売、各種体験などを通して 下流域住民との交流や森林整備に対する啓発を 行っている。
一宮市親子 木曾川源流 探検隊	H13～ 毎年 7 月下旬 ～8 月上旬	木祖村 こだまの森 周辺	一宮市民、親子が木曾川源流を知り、水源地 に対する理解を図るため源流訪問ツアーを実施 している。原生林見学や各種体験を行い、上流 地域に対する理解と交流を図っている。
木曾川郷土 自慢観光物 産展	H13～ 毎年 10 月中 旬の金・土・ 日曜日	一宮市 名鉄百貨店 一宮店	木曾川沿川濃尾連携の会主催のイベントで、 木曾川上流域の紹介のために参加し、観光宣伝、 物産販売等を行い PR と交流を図っている。
いちのみや 秋のみどり とくらし展	H18～ 毎年 11 月上 旬の土・日曜 日	一宮市 大野極楽寺 公園	毎年、春に開催される「いちのみやリバーサ イドフェスティバル」の秋バージョン。市民緑 化の推進を図るイベントに協力し、各種体験や 物産販売を通じ下流域住民との交流を図り、木 曾地域の PR を行っている。

【名古屋市との交流】

事業内容	年 月 日	場 所	経 過 説 明
水道週間イベ ント	H18～ 毎年 6 月第 1 日曜日	名古屋市千種 区 鍋屋上野浄水 場	木祖村と名古屋市上下水道局が「味噌川ダ ム」の関係から交流していたことがきっかけ となり、上下流交流実行委員会として交流の 拡大を図ることとなった。
エコ市	H18～ 毎年 11 月初 旬	名古屋市 上下水道局施 設	木祖村と連携し、各種体験や物産販売、観 光宣伝や森林整備に関する啓発を図り、名古 屋市民との交流を行っている。

名古屋城本丸御殿秋のPRイベント(名古屋まつり)	H18～ 毎年10月の第2土・日曜日	名古屋市栄 オアシス21 もちの木広場	名古屋城本丸御殿の復元へ向け、名古屋市が実施するイベントへ協力することにより、両地域の交流と連携を深め、交流人口の拡大による地域振興と基幹産業の活性化を目指している。
平成の名古屋市民の森植樹祭	H21～ 毎年5月	木曽町戸立町 有林 各町村視察	イベントでは、森林整備活動の啓発や観光宣伝、木曽路の特産品などの物産販売、市民との交流を図っている。 また、名古屋城本丸御殿での木材利用についての啓発のため、平成21年度から10年間の計画で木曽町戸立町有林において名古屋市民による植樹祭と管内町村の視察を行なっている。

【下流域民間団体等との交流】

事業内容	年月日	場所	経過説明
水源の里を守ろう 木曽川流域みん・みんの会	H20.7～ 毎年9月 今池祭り	名古屋市内 木曽郡内	平成20年7月から全国水源の里連絡協議会に協調した取組を行っている「水源の里を守ろう 木曽川流域みん・みんの会」との交流が始まり、木曽川源流地域の特産品を下流域で購入いただき、一部を「木曽川流域水源の里基金」に積み立て、上流域の活性化に活かす取組が始まった。間伐材を利用した木製ベンチの製作依頼や郡内小学校への図書の寄贈等を実施している。また、会の事務局のある名古屋市今池のイベントにも積極的に参加し、市民との交流、活動の継続を図っている。
木曽三川がっなぐ山とまちインターネットフォーラム実行委員会	H21.12～ 毎年 11～12月	木曽町 上松町 大桑村	平成21年12月の第2回木曽川フォーラムから木曽広域連合としての取り組みが始まった。上流域の情報と下流域の情報を相互に共有し交流を深めていくもので、平成21年木曽町(名古屋市会場(白鳥公園))とインターネット回線を利用した生中継でのフォーラム)、平成22年上松町、平成23年大桑村で開催した。毎年約200名の上下流住民が参加し、活発な意見交換や交流を図っている。